

1 青森県の推計人口（平成16年2月1日現在） 1

県人口	1,458,897人	(対前月 581人減少、対前年同月 7,512人減少)
自然動態	415人減少	(出生者数 998人、死亡者数 1,413人)
社会動態	166人減少	(転入者数 1,334人、転出者数 1,500人)

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向をみると、鉱工業生産指数にプラスの動きがあるものの、個人消費や住宅建設において前年同月を下回るなど低調な動きとなっており、全体として厳しい状況が続いている。

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産 平成15年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が86.6で、前月比4.2%の上昇(2ヶ月ぶり)、また、原指数が92.8で、前年同月比1.9%の上昇(2ヶ月ぶり)となった。

〔化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が88.9で、前月比5.2%の上昇(2ヶ月ぶり)、原指数が94.7で、前年同月比3.0%の上昇(2ヶ月ぶり)となった。〕

(2-2) 雇用情勢 平成15年12月の現金給与総額は466,796円で前年同月比4.2%減となった。このうち、定期給与は231,597円で0.7%減となっている。総実労働時間では、158.3時間で前年同月比0.9%減となり、所定外労働時間では8.5時間で対前年同月比6.6%減となっている。

(2-3) 物価 平成16年1月の青森県消費者物価指数は、総合指数で99.4となり、前月と同水準となった。

(2-4) 個人消費 平成15年12月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比6.8%減の183億2千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比3.9%減といずれもマイナスとなった。平成15年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,765台で、前年同月比14.1%の減となり、2ヶ月連続前年を下回った。

(2-5) 住宅建設 平成15年12月の新設住宅着工戸数は666戸で、持家が増加したが、貸家、分譲住宅の減少により前年同月比16.6%減となり、11ヶ月連続前年を下回った。

(3) 景気動向指数（平成15年12月分） 7

先行指数	50.0%	(2か月連続で50%を上回った後50%となった)
一致指数	62.5%	(2か月連続で50%を上回った)
遅行指数	57.1%	(7か月ぶりに50%を上回った)

1 青森県の推計人口（平成16年2月1日現在）

【概況】

平成16年2月1日現在の本県推計人口は、1,458,897人で、前月に比べ581人、前年同月に比べると7,512人それぞれ減少となった。

○自然動態

出生者数が998人、死亡者数が1,413人で、415人の減少となった。
1月中の統計としては、出生者数が過去（昭和41年以降。）最少となった。

○社会動態

転入者数が1,334人、転出者数が1,500人で、166人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
平 2. 10. 1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7. 10. 1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12. 10. 1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
15. 2. 1	1,466,409	697,059	769,350	-0.043%	-638	-435	1,048	1,483	-203	1,460	1,663
15. 3. 1	1,465,541	696,605	768,936	-0.059%	-868	-366	904	1,270	-502	1,374	1,876
15. 4. 1	1,459,568	693,152	766,416	-0.408%	-5,973	-353	909	1,262	-5,620	4,746	10,366
15. 5. 1	1,460,756	693,883	766,873	0.081%	1,188	-173	992	1,165	1,361	5,161	3,800
15. 6. 1	1,460,557	693,699	766,858	-0.014%	-199	-165	999	1,164	-34	1,815	1,849
15. 7. 1	1,460,426	693,599	766,827	-0.009%	-131	-53	992	1,045	-78	1,559	1,637
15. 8. 1	1,460,013	693,336	766,677	-0.028%	-413	-49	1,069	1,118	-364	2,089	2,453
15. 9. 1	1,460,389	693,613	766,776	0.026%	376	-75	1,000	1,075	451	2,639	2,188
15. 10. 1	1,460,050	693,437	766,613	-0.023%	-339	-99	1,040	1,139	-240	1,842	2,082
15. 11. 1	1,460,172	693,492	766,680	0.008%	122	-53	1,037	1,090	175	2,165	1,990
15. 12. 1	1,459,893	693,300	766,593	-0.019%	-279	-205	870	1,075	-74	1,368	1,442
16. 1. 1	1,459,478	693,077	766,401	-0.028%	-415	-248	896	1,144	-167	1,364	1,531
16. 2. 1	1,458,897	692,740	766,157	-0.040%	-581	-415	998	1,413	-166	1,334	1,500

1月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月	平7.1	8.1	9.1	10.1	11.1	12.1	13.1	14.1	15.1	16.1	
自然動態	出生者数	1,134	1,149	1,137	1,192	1,131	1,110	1,101	1,022	998	
	死亡者数	1,359	1,199	1,555	1,232	1,473	1,398	1,322	1,255	1,413	
	自然増減数	-225	-50	-418	-40	-342	-288	-221	-233	-435	-415
社会動態	県外からの転入者数	1,771	1,623	1,647	1,466	1,427	1,350	1,402	1,429	1,460	1,334
	県外への転出者数	1,565	1,536	1,622	1,541	1,478	1,309	1,532	1,399	1,663	1,500
	社会増減数	206	87	25	-75	-51	41	-130	30	-203	-166

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成15年2月1日から平成16年2月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法 県の人口＝自然増減数（出生－死亡）＋社会増減数（県外転入－県外転出）

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数を含めていたが、県間移動数に修正を行った為、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総数とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成15年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が86.6で、前月比4.2%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は92.8で、前年同月比1.9%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

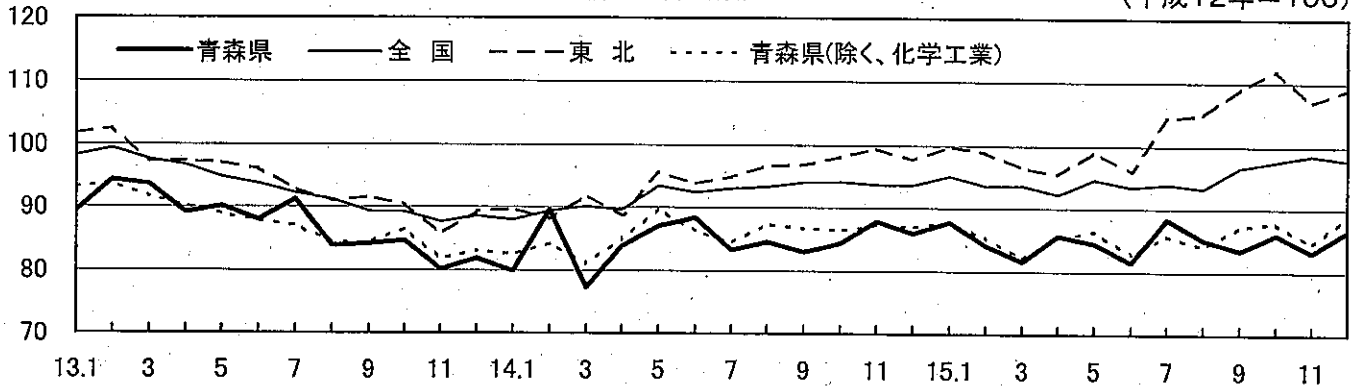
季節調整済指数で前月からの動きをみると、一般機械工業、食料品工業、化学工業などが上昇に寄与した一方、プラスチック製品工業、窯業・土石製品工業、繊維工業などが低下し、鉱工業全体では4.2%の上昇となった。

(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が88.9で、前月比5.2%の上昇(2ヶ月ぶり)、原指数が94.7で、前年同月比3.0%の上昇(2ヶ月ぶり)となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成12年=100)

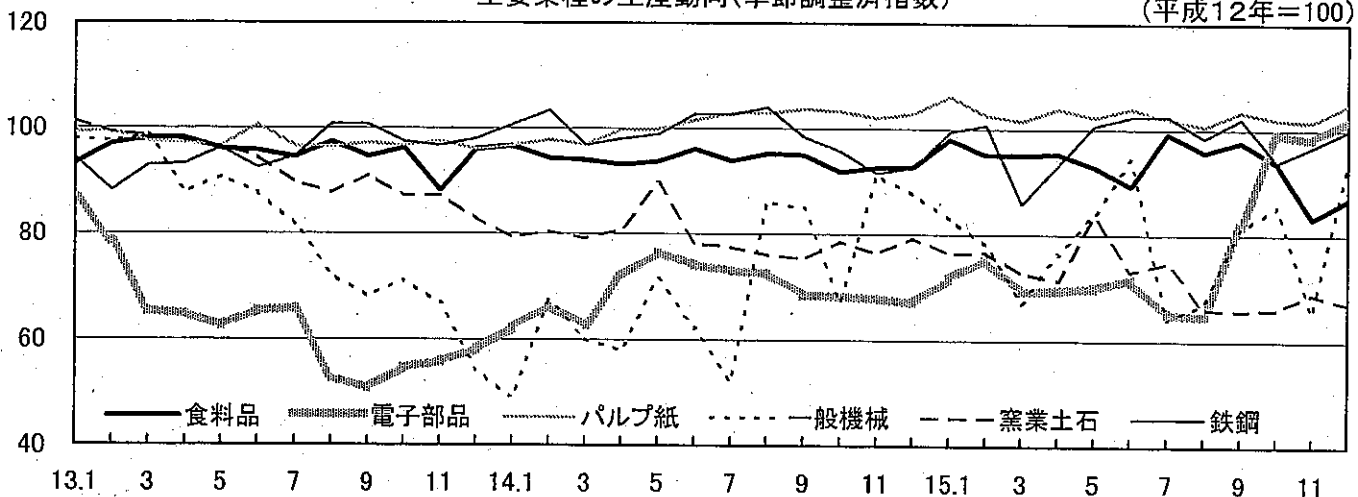


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)	4.2	100.0			
一般機械工業	43.5	28.3	プラスチック製品工業	-7.2	-2.2
食料品工業	4.4	15.9	窯業・土石製品工業	-2.8	-1.8
化学工業	66.3	14.5	繊維工業	-2.9	-1.7
金属製品工業	23.7	11.1	家具工業	-28.7	-1.3
電子部品・デバイス工業	4.0	7.7	ゴム製品工業	-10.3	-0.6

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成12年=100)

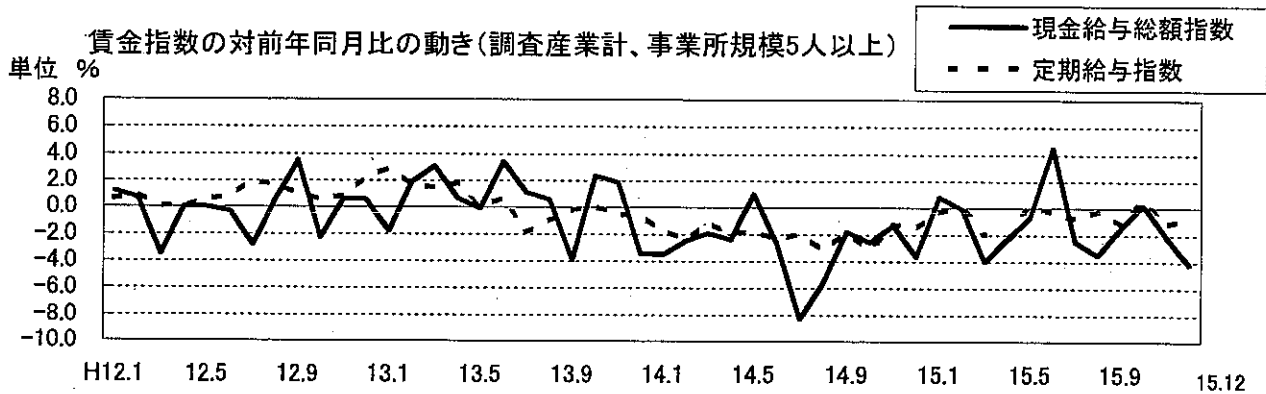


資料:県統計情報課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成15年12月の現金給与総額は466,796円で現金給与総額指数（平成12年=100）では162.7となり、前年同月比4.2%減となった。このうち、定期給与は231,597円で定期給与指数では98.0となり、前年同月比0.7%減となった。実額で比較した定期給与の全国対比は82.6となった。

所定外労働時間は8.5時間で、所定外労働時間指数では98.8となり、前年同月比6.6%減となった。



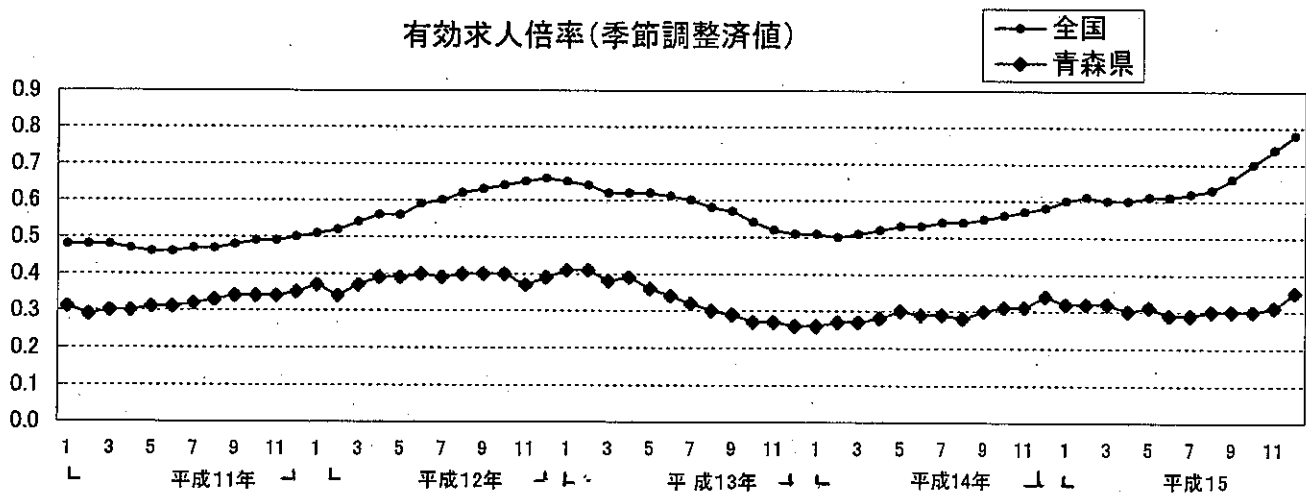
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	466,796 円	621,143 円	162.7	174.7	-4.2 %	-1.5 %
定期給与	231,597 円	280,378 円	98.0	98.7	-0.7 %	-0.1 %
特別給与	235,199 円	340,765 円	—	—	—	—
総実労働時間	158.3 時間	153.0 時間	99.8	99.0	-0.9 %	-0.1 %
所定内労働時間	149.8 時間	142.3 時間	99.8	98.3	-0.5 %	-0.5 %
所定外労働時間	8.5 時間	10.7 時間	98.8	108.1	-6.6 %	5.0 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

有効求人倍率(季節調整済値)



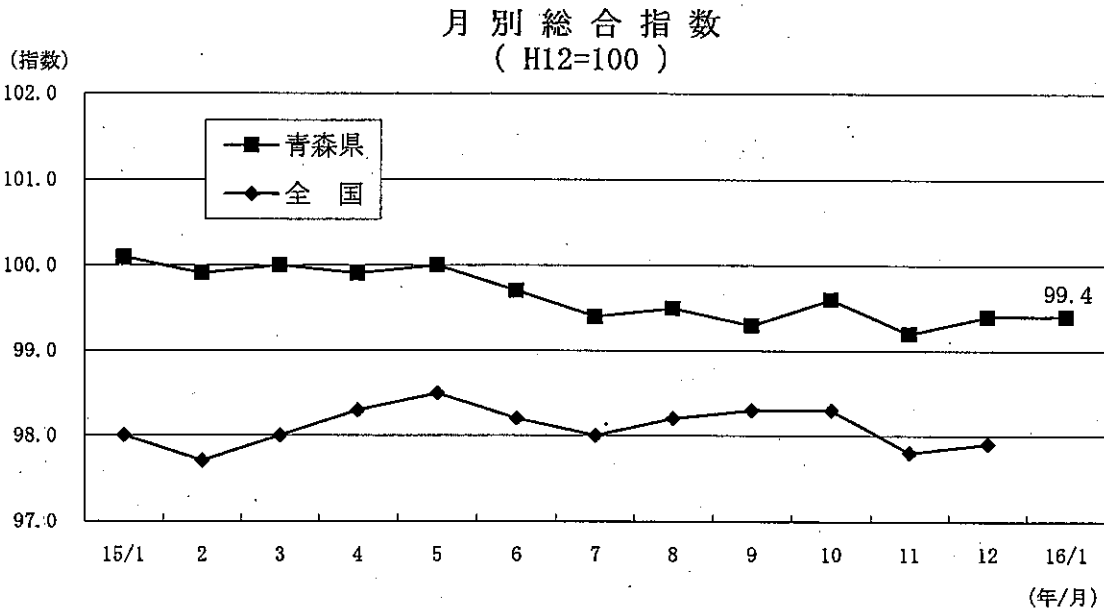
資料:青森労働局職業安定部職業安定課

(2-3) 物価

平成16年1月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で99.4となり前月と同水準。前年同月比は0.7%減となった。

前月指数と比較すると、「食料」は生鮮野菜（はくさい、キャベツ、だいこん等）、「諸雑費」は理美容用品（歯ブラシ、歯磨き等）、身の回り用品（腕時計）の値上り等により上昇した。

「被服及び履き物」は冬物の衣料等、「教養娯楽」は教養娯楽サービス（外国パック旅行等）の値下り等により下落した。



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

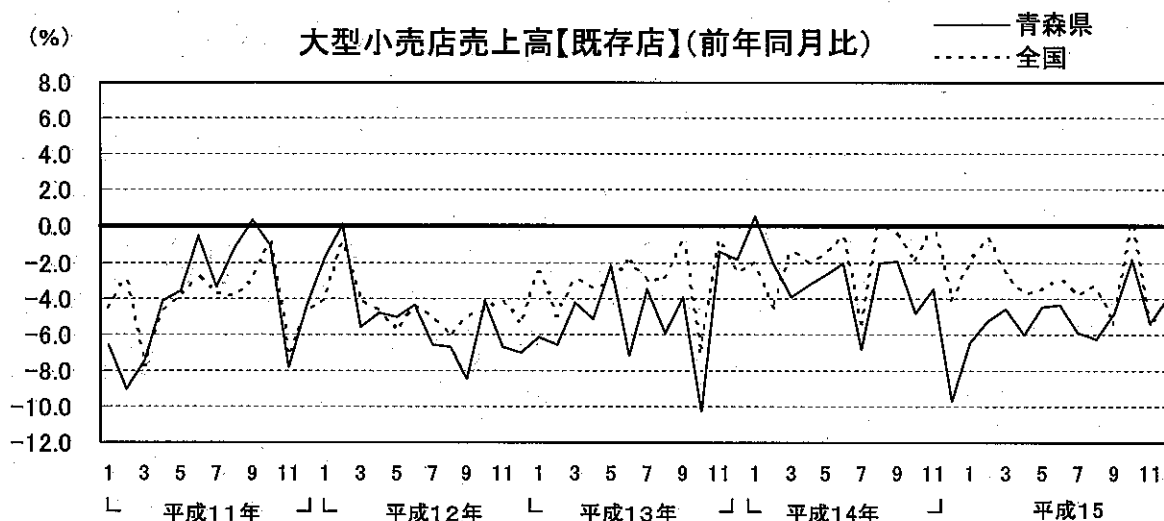
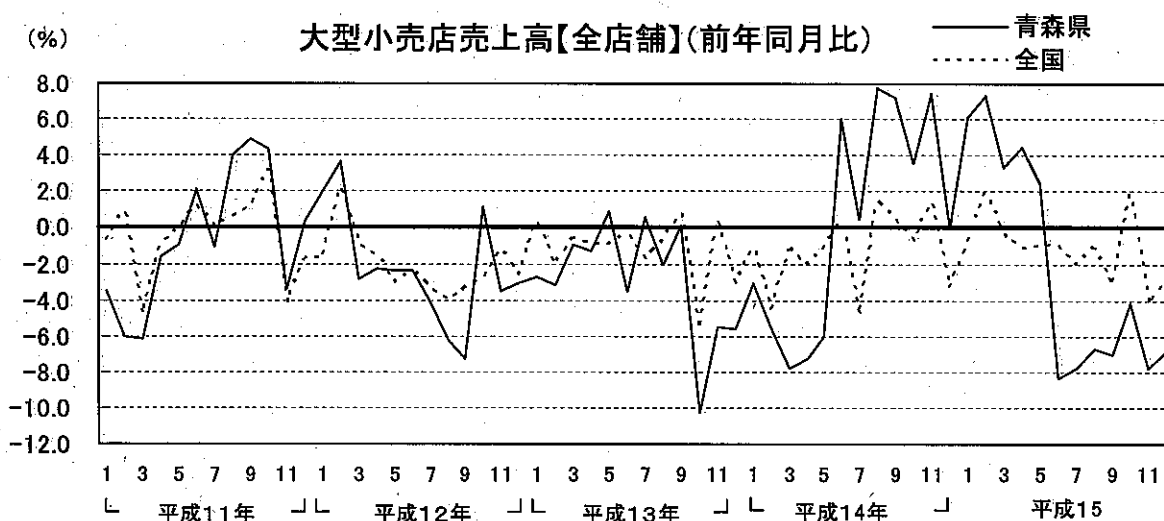
	総合	総合 (持ち家の 帰属家賃を 除く)	総合 (生鮮 食品を除く)	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服 及び 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
当月指数	99.4	98.2	99.5	100.4	99.1	105.2	99.2	91.5	94.9	107.9	96.4	100.9	89.7	103.7
前月比	0.0	0.0	▲ 0.4	1.3	9.6	0.0	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 3.9	0.1	▲ 0.4	0.0	▲ 0.8	0.3
前年同月比	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 1.1	0.2	▲ 3.2	1.3	3.9	▲ 0.9	▲ 4.0	▲ 2.6	3.9

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」（速報）

(2-4) 個人消費

平成15年12月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比6.8%減の183億2千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比3.9%減と7ヶ月連続全店舗ベース、既存店ベースのいずれにおいてもマイナスとなった。内訳をみると、百貨店の既存店ベースで身の回り品、飲食料品、スーパーの既存店ベースで身の回り品がプラスになったものの、その他の部門において百貨店、スーパーとも前年を下回った。

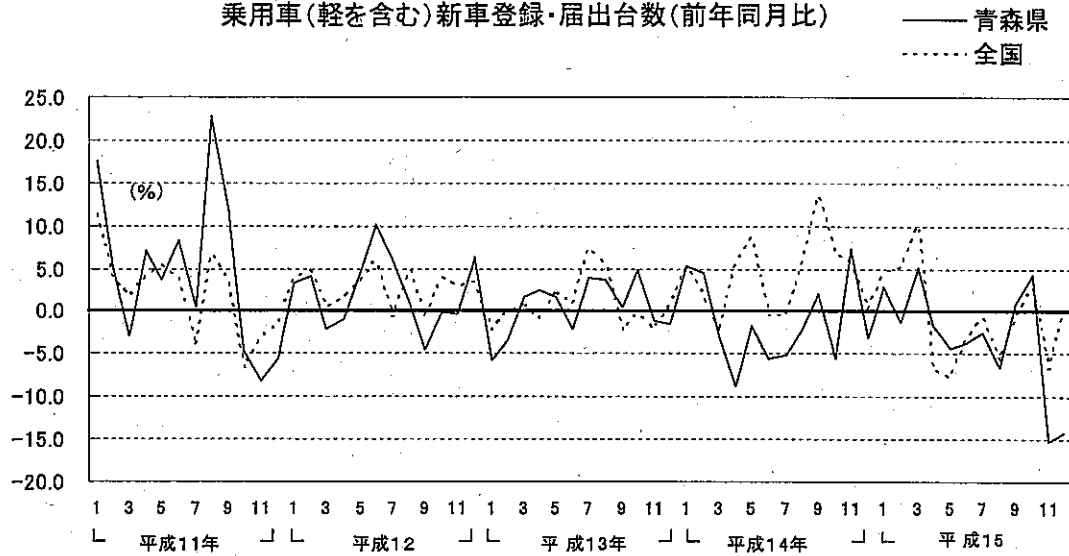
平成15年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,765台で、普通乗用車が増加したが、小型乗用車、軽乗用車の減少により前年同月比14.1%減となり2ヶ月連続前年を下回った。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

- * 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

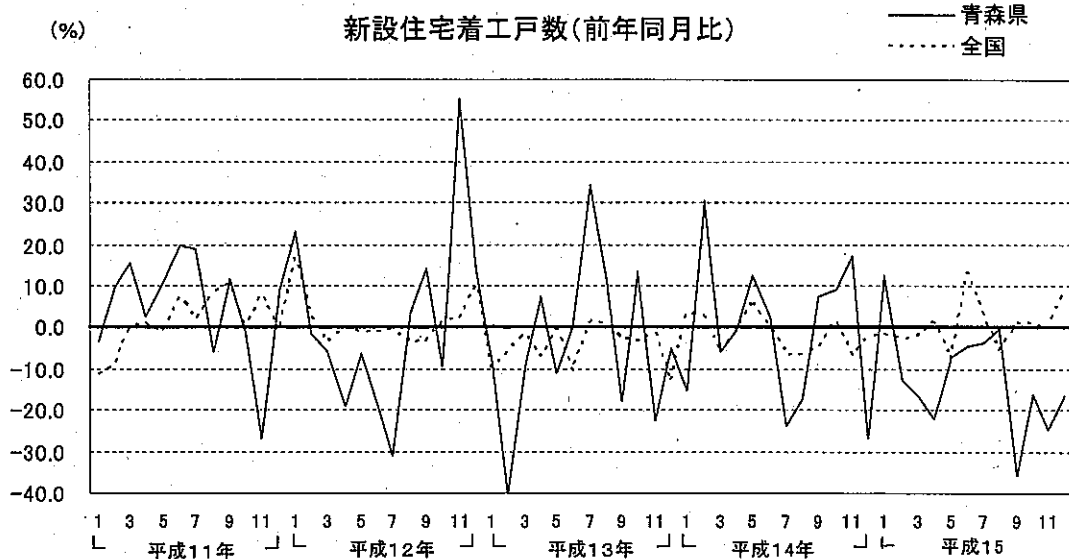
乗用車(軽を含む)新車登録・届出台数(前年同月比)



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、
日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成 15 年 12 月の県内新設住宅着工戸数は 666 戸で、持家が増加したが、貸家、分譲住宅の減少により前年同月比 16.6%減となり、11ヶ月連続前年を下回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(3) 青森県景気動向指数

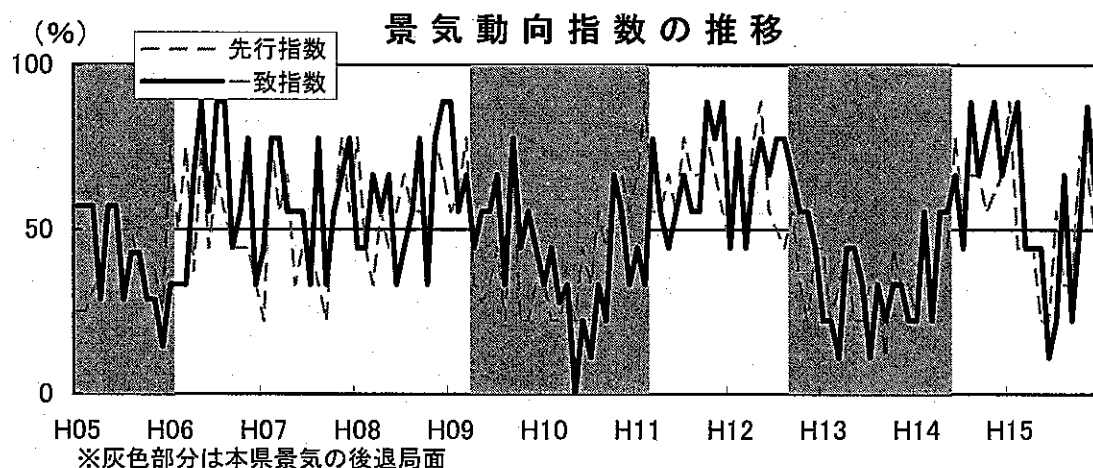
平成15年12月の青森県景気動向指数は、先行指数50.0%、一致指数62.5%、遅行指数57.1%となった。

先行指数は、2か月連続で50%を上回った後、50%となった。

一致指数は、2か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、7か月ぶりに50%を上回った。

12月の一致指数は、雇用関連の指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中4指標がプラス、1指標が保合)			
生産財生産指数	4か月連続	新設住宅着工戸数	4か月連続
所定外労働時間指数 (全産業)	4か月連続	乗用車新車登録届出台数	2か月連続
企業倒産負債額	3か月連続	新規求人数 (常用)	3か月ぶり
建築着工床面積 (鉱+商+サ)	2か月連続	入職率 (製造業)	3か月ぶり
中小企業景況DI		前月マイナスの後、保合	
一致系列 (8指標中5指標がプラス) ※1			
電気機械生産指数	5か月連続	大口電力使用量	2か月ぶり
有効求人数 (常用)	3か月連続	日銀券月中発行高	2か月ぶり
海上出入貨物量 (八戸港)	2か月連続	鉱工業生産指数 ※2	3か月ぶり
大型小売店販売額 (実質)	2か月連続		
雇用保険基本手当初回受給者数	2か月ぶり		
遅行系列 (7指標中4指標がプラス)			
勤労者世帯家計消費支出 (実質)	3か月ぶり	常用雇用指数 (製造業)	6か月連続
1人平均月間現金給与総額	4か月ぶり	輸入通関実績 (八戸港)	5か月連続
単位労働コスト (製造業) ※2	4か月ぶり	消費者物価指数 (帰属家賃除く総合)	2か月連続
信用保証申込金額	7か月ぶり		

※1 一致系列の東北自動車道IC利用台数については、青森中央IC、青森東ICの開通による影響が大きいため、当面の間、判定に用いないこととする。

※2 鉱工業生産指数の指数値改訂により、過去に遡って指数の改訂を行った。

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」